

住民との協働のまちづくり（愛媛県松野町）

取組概要

町内10地区において、行政と協働により、地域の課題などの現状分析を行い、将来あるべき姿を示した「地域計画」を定めるとともに、地域における公共的な活動等に対して、その活動費を補助する「協働のまちづくり事業補助金」を創設し、地域づくりを推進。

人口 4,152人

担当 総務課

取組の効果

住民自らが策定した「地域計画」に基づき、里道改修や案内標識の設置、棚田を活かした事業・おかあさんレストラン・キャニオニング等の地域イベントの開催など、特色あるまちづくり活動を実践。



滑床キャニオニング

創意・工夫した点

地域計画を策定するにあたり、地元出身の職員を地区協議会に配置し、事務的な支援を行うことで、協働体制を構築。積極的に取り組む団体等に対しては、実績を踏まえ支援を拡充。

他団体へのアドバイス

地域住民が主体となって計画を策定することで、これまで行政に頼りがちだった住民が、「自分たちの地域は自分たちでつくる」という機運が高まった。



奥内の棚田体験メニュー「田植え」